



秋の訪れを感じながら

校長 小倉 孝行

「秋の夕暮れ」という言葉が似合う季節になってきました。夏の厳しい暑さも少しずつ和らぎ、夕方になると、空の色や虫の声に秋の気配を感じます。一方で、台風や大雨による風水害にも十分な注意が必要です。先日的大雨では、各地で大きな被害がありました。皆様におかれましても気象情報や、保護者の皆様は学校からの連絡（すぐる）をご確認いただき、安全を第一にお過ごしいただければと思います。

夏休みが明けて1か月が過ぎました。生徒たちは自分の目標に向けて日々努力しています。夏テスト前、校内を歩いていると生徒たちが図書館の学習コーナーで宿題をしたり、教え合ったりしていました。私が見ていると「この問題の考え方を教えてください。最後は自分で理解しないと意味がないので答えは言わないでください。」と。生徒たちの真剣な気持ちを感じました。また、先週は3年生の希望者が本校で「実用英語技能検定」(英検)を受験しました。緊張しながらも、これまで身に付けてきた力を精一杯出し切っていました。



教室での合唱練習の様子

今、生徒たちは「風歌祭」の準備や合唱の練習をしています。きれいな歌声。しかし、生徒たちはまだまだという表情で練習を続けています。先日の朝会で3年生の風歌祭実行委員長が次の話をしてくれました。

今年の風歌祭のスローガンは、「笑顔全開・青春満開 ～最高の今を咲かせよう！～」です。生麦中学校の生徒全員が笑顔に満ちあふれ、学校生活を楽しめるような、充実した風歌祭を全員で作り上げようという思いを込めています。風歌祭を盛り上げるためにはみなさんの力が必要です。実行委員一同全力で活動していくので、みなさんも一緒になって力を発揮していきましょう。そして、生麦中学校全体で盛り上げ、よりよい風歌祭を作っていきましょう。

10月は生徒会選挙もあります。立候補者が告示され、もう少しすると立候補者たちはたすきをかけて朝の選挙活動を始めます。3年生の選挙管理委員長も朝会で話をしてくれました。

10月14日に生徒会選挙が行われます。(中略)立候補者のポスターを張り出しますので、ぜひ立候補者を応援してください。10月には立候補者によるあいさつ運動やお昼の放送での応援演説といった選挙活動も行われます。(中略)みなさんの一票が生麦中学校のこれからを大きく左右します。生麦中学校の一員として責任感をもって選挙に臨めるようにしましょう。

そして、部活動では3年生から2年生へとバトンが渡り、2年生が中心となって1年生と共に練習を重ねています。最後まであきらめない姿勢が受け継がれ、頼もしいです。

生徒たちを見ていると、今年度前半に培った力を、残りの半年で発揮しようとしている様子が感じられます。そんな生徒たちの原動力は、学校教育だけでは高められません。保護者・地域の皆様の思いや、愛情を込めたこれまでのご指導もしっかりと伝わり、生徒たちは様々なことに挑戦しています。もしかしたら3年生は「仲間と創る最後の風歌祭を一生の思い出にしたい。成長した姿を会場にいる全員に見せたい。」と思っているかも知れません。2年生は「これからは私たちが学校をリードし、生麦中をさらに良い学校にしていきたい。」、1年生は「中学校に入学し、頑張ってきた自分たちの力を試したい。」と考えているかもしれません。

秋は「実りの秋」とも言われます。これまで積み重ねてきた努力が実を結ぶ時期でもあります。生徒たちが自分自身の成長を実感できるよう、教職員一同、力を合わせて支えて参ります。保護者・地域の皆様には、引き続き生徒たちを見守りいただき、励ましていただきますようお願いいたします。

10月もどうぞよろしくお願いいたします。

8組 「鶴見区合同交流会」に参加しました

9月17日(木)、8組の生徒たちは潮田中学校へ行き、鶴見区個別支援学級合同交流会に参加しました。学校、学年にかかわらず仲間たちと触れ合い、楽しい時間を過ごしました。10月16、17日には鶴見区合同宿泊学習もあります。交流会での経験を生かして仲間たちと協力し合い、さらに力を伸ばしてくれることでしょう。楽しみです。



交流会の様子

校内授業研究会を開催しました

2030年頃の社会を見据えて作られた今の教育(平成29年告示 学習指導要領)も、あと数年後には改訂されます。9月、授業力向上を目的に校内授業研究会を実施しました。本校では生徒の主体性やコミュニケーション力を高め、各教科の単元で身に付けさせたい力をいかに育むかをテーマに研究を進めています。日頃の授業もそうですが、教師が生徒の小さな気づきや意見を引き出しながら、生徒同士の自然な対話場面を作り、これまで学習したものを活用できないかと話し合ったり、仲間の意見を聞いて自分の考えを修正したりと、知識や技能、考え方などをより深めています。そして、このような学習を繰り返しながら、生徒たちは「学び方そのもの」を学んでいます。将来、社会人になりAI時代を生き抜いていくために必要な力をどのように身に付けるか。学校だけではなく、家庭、地域それぞれがどのように取り組み、連携していくかを一緒に考えていく必要があるでしょう。



学習指導要領は、社会の変化を見据え、児童生徒がこれから生きていくために必要な資質や能力について、おおむね10年ごとに改訂されます。次期学習指導要領は、小学校は2030年度、中学校は2031年度、高校は2032年度入学生から順次全面実施の予定です。

※次期学習指導要領に向けての詳しい情報は、文部科学省のホームページから次の資料等をご覧ください。

- ・審議まとめに向けた検討(令和8年8月4日)
- ・第5期教育振興基本計画の策定について(諮問)
(令和8年8月21日)
- ・次期学習指導要領等に向けた 審議まとめ(素案)
(令和8年8月31日)

いかにいじめの未然防止をするか! 地区懇談会「生麦中ブロック 子ども・おとな会議」開催

9月29日(火)の放課後、本校にて「地区懇談会」を開催しました。今年度は横浜市教育委員会の取組の一つである「横浜子ども会議」を受け、代表生徒と保護者・地域の代表の皆様、学区の小中学校の教員が集まり、本校独自に「生麦中ブロック 子ども・おとな会議」を実施しました。テーマは横浜子ども会議(※)と同じ「いじめをしない、させない、見逃さない」です。いじめの未然防止について何ができるかを全員で話し合いました。当日は株式会社タウンニュース社の取材もありました。参加いただいた皆さんからは「相手のことを理解し、違いを認められる自分であることが必要」「勇気をもって伝えることも大事」「仲間とかかわり良い時間を重ねていくことが大切」等の意見がありました。今後、生徒会役員を中心に意見を整理し、何を全校生徒で取り組んでいくのかを検討していきます。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



話し合いの様子

※「横浜子ども会議」とは、全横浜市内立学校の児童生徒が主体となり、いじめの未然防止等を話し合う会議のことです。

生徒のみなさんへ

夏テスト当日の朝、私が校庭に立っていると、登校したある3年生同士が「頑張ろうぜ」という思いを込めてグータッチを交わし、それぞれの昇降口に向かって行きました。言葉にしなくても互いを励まし、応援する気持ちが伝わる温かな場面でした。何気ない日々の関わりの中に、仲間と共に成長していくみなさんの素敵な姿があります。私はその姿をいつも見られて幸せです。

今の学年、クラスも半年が過ぎました。よくここまで成長しましたね。きっと残りの半年も、例え困難なことがあったとしても、乗り越えてくれると思っています。

風歌祭、頑張ってくださいね。あとで悔いが残るのはもったいないですよ。みなさんがもっている全ての力を出し切ってください。楽しみにしています。